

はじめに

立命館大学人間科学研究所では文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業オープン・リサーチ・センター整備事業「臨床人間科学の構築」（2005年度～2009年度）を展開しているが、その一環として子どもプロジェクトがとりくまれている。本書は、同プロジェクトが中心となって開催した、2009年12月6日のシンポジウム「高機能自閉症・アスペルガー症候群の学童期・思春期の発達特徴と教育的支援—学童期・思春期における二次障害への早期対応と人格発達への発達支援—」（主催：人間科学研究所、後援：京都府教育委員会、京都市教育委員会）の報告書である。

シンポジウムは以下のようなスケジュールと内容ですすめられた。

午前の部では、基調講演1として「高機能広汎性発達障害—二次障害への対応—」杉山登志郎さん（あいち小児保健医療総合センター心療科）、基調講演2として「学童期～思春期に現れる教育的・社会的困難への支援—心理学の立場から—」藤川洋子さん（京都ノートルダム女子大学）の2人の報告者から最近の研究動向にふれつつシンポジウムのテーマに関わる基本的課題について問題提起していただいた。

午後の部では、シンポジウム「学童期・思春期における二次障害への早期対応と人格発達への発達支援」と題して、小谷裕実さん（花園大学社会福祉学部臨床心理学科）、楠凡之さん（北九州市立大学文学部人間関係学科）、田井みゆきさん（NPO法人ノンラベル）および荒木穂積（立命館大学産業社会学部／同大学院応用人間科学研究科）の4人のシンポジストから、最近の研究動向と関わって問題提起を行ってもらった。指定討論として竹内謙彰さん（立命館大学産業社会学部）、村本邦子さん（立命館大学大学院応用人間科学研究科）の2人からコメントをいただいた。

報告者のみなさんには、お忙しい中、当日の報告に修筆を加えていただいた。全体として「学童期・思春期における二次障害への早期対応と人格発達への発達支援」の動向を伝える内容になっているのではないかと思う。

本報告書を活用していろいろな場で活発な議論が展開されることを期待している。

2010年2月4日

コーディネーター 荒木 穂積

立命館大学特別公開シンポジウム

高機能自閉症・アスペルガー症候群の 学童期・思春期の発達特徴と 教育的支援

日時 2009年12月6日(日)
10:00~17:00 (開場受付開始 9:30)

会場 立命館大学 衣笠キャンパス 末川記念会館
1階 講義室 京都市北区等持院北町56-1

**参加費
無料**

定員先着150名
要事前予約

午前の部(10:00~12:00): 基調講演

高機能自閉症およびアスペルガー症候群の 学童期・思春期の発達特徴と教育的対応

司 会 望月 昭 (立命館大学人間科学研究所所長/同大学院応用人間科学研究科教授)

- 基調講演 ①** 「学童期から思春期に現れる二次障害への支援—医学の立場から—」
杉山 豊志郎 (あいち小児保健医療総合センター心療科部長兼保健センター長)
- 基調講演 ②** 「学童期から思春期に現れる教育的・社会的困難への支援—心理学の立場から—」
藤川 洋子 (京都ノートルダム女子大学心理学部教授/同大学心理臨床センター長)

午後の部(13:00~17:00): シンポジウム

学童期・思春期における二次障害への 早期対応と人格発達への発達支援

コーディネーター 荒木 穂積 (立命館大学産業社会学部/同大学院応用人間科学研究科教授)

- 報告 ①** 「学校での支援、学校外での支援—医療の立場から—」
小谷 裕実 (花園大学社会福祉学部臨床心理学教授)
- 報告 ②** 「学校での支援、学校外での支援—生活指導実践に焦点をあてて—」
楠 凡之 (北九州市立大学文学部人間関係学科教授)
- 報告 ③** 「学校での支援、学校外での支援—当事者グループの活動から—」
田井 みゆき (NPO法人ノラベル理事長)
- 報告 ④** 「学童期の特別なニーズと学校外プログラム—あひるくらぶの活動から—」
荒木 穂積 (立命館大学産業社会学部/同大学院応用人間科学研究科教授)
- 指定討論** 竹内 謙彰 (立命館大学産業社会学部現代社会学科教授) 他

お申し込み
・
問い合わせ先

立命館大学人間科学研究所

【下記ホームページ上の予約フォームまたはFAXにてお申込みください】

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 Tel: 075-465-8358 Fax: 075-465-8245 E-mail: ningen@st.ritsume.ac.jp

URL: <http://www.ritsumeihuman.com/form.html>

※駐車場スペースがございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。

主催：立命館大学人間科学研究所 後援：京都府教育委員会、京都市教育委員会

この企画は、文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業「臨床人間科学の構築」プロジェクトの研究成果を広く社会に発信するものです。